土質柱状図

報告用紙

調査名・調査地点 千葉市立若松中学校増築地質調査　　標高 ＿＿＿ m　　調査年月日 55年4月23日～55年4月24日

ボーリング孔：No. 1　　孔内水位 13.40 m　　調査担当者 ＿＿＿

深さ m	層厚 m	土質記号	土質名	色調	記事
0.70	0.70		表土	黄褐	0.30mまで盛土 以深は旧農耕土
			ローム	茶褐	均一のローム
				黄褐	2.5m以深は粘着力強く粘土質 少量の有機物混入
4.25	3.55				
			粘土	乳灰	粘着力強し 少量の有機物混入 全般的に均一の粘土
6.20	1.95				
6.75	0.55		粘土質細砂	黄灰	多量の有機物
			細砂	茶褐	砂の粒度均一
				淡黄褐	11m～13mは粗
					15m～18m浮石混入 16mは近浮石多量に混入
				黄褐	18m以深は均一の細砂にて締る
20.50	13.75				
			粘土混り細砂	淡褐灰	少量の粘土分 全般に含有す 砂の粒度均一
24.60	4.10				
			細砂	淡褐灰	安定した砂層 27m以深は微粗砂状となり非常に締る
				褐灰	
30.30	5.70				

標準貫入試験

深さ m	打撃回数／貫入量 cm	10cmごとの打撃回数 10cm	20cm	30cm	N値
1.15	4/33	1	1	2/13	2
2.15	4/30	1	1	2	2
3.15	4/30	1	2	1	3
4.15	3/30	1	1	1	2
5.15	2/30	1/19	1/12		1
6.15	7/30	2	2	3	5
7.15	13/30	4	4	5	9
8.15	16/30	4	5	7	12
9.15	13/30	5	4	4	8
10.15	15/30	4	5	6	11
11.15	16/30	4	5	7	12
12.15	17/30	5	6	6	12
13.15	14/30	4	5	9	14
14.15	[illegible]	3	3	9	12
15.15	19/30	5	6	8	14
16.15	19/30	5	7	7	14
17.15	38/30	8	15	15	30
18.15	50/27	16	18	16	34
19.15	50/26	15	18	17/6	35
20.15	50/25	17	15	18/5	33
21.15	34/30	9	11	14	25
22.15	48/30	10	15	23	38
23.15	46/30	10	13	23	36
24.15	50/27	12	15	23/7	30
25.15	50/25	13	16	21/5	32
26.15	50/17	22	28/7		50
27.15	50/15	25	25/5		50
28.15	50/23	19	22	9/3	41
29.15	50/22	17	23	10/2	40
30.15	50/15	27	23/5		50

試料採取

試料番号	深さ m	採取方法
1	2.30	○
2	5.30	○
3	6.30	○
4	8.30	○
5	12.30	○
6	15.30	○
7	19.30	○
8	21.30	○
9	25.30	○
10	30.25	○

備考：

試料採取方法の記号
- ● シンウォールサンプラー
- ○ 貫入試験用サンプラー
- ◉ デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他

不許複製 2－I

土　質　柱　状　図

調査名・調査地点　千葉市立若松中学校増築 地質調査委託

調査年月日　57年4月　日～　月　日

標高　仮BM-0.47 m

自然水位　GL -13.10 m

調査員

ボーリング孔：No.　1

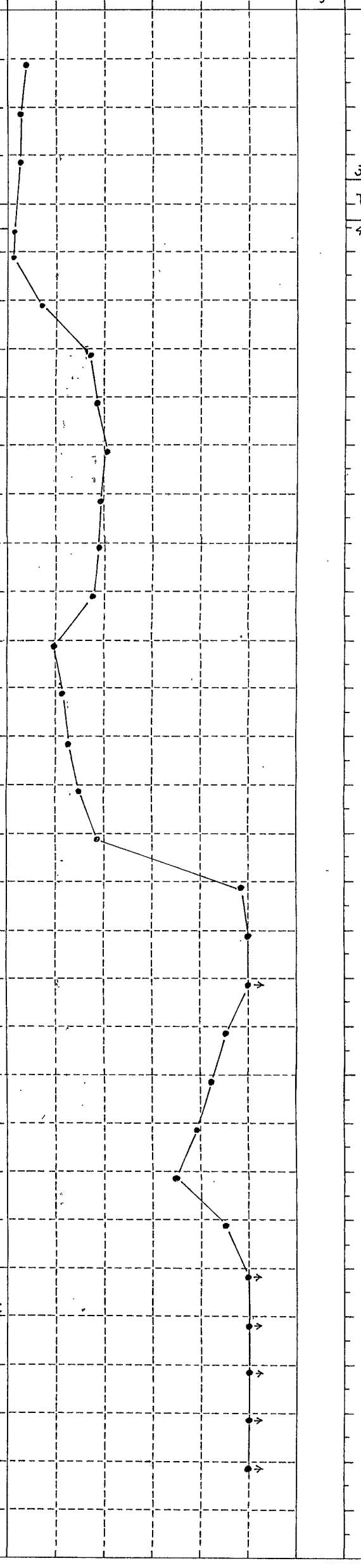
孔内水位　GL -13.70 m

調査主任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質記号	土質名	色調	記事
		1.40	1.40		盛土	暗褐	ローム質土。上部15cmは盛砂。軟かい。レキ混入する。
		3.80	2.40		ローム	茶褐灰	軟かい。湿潤性中位。粘性中位。火山灰土。
		6.95	3.15		凝灰質粘土	茶褐灰～乳灰	軟かい～硬さ中位。湿潤性中位。粘性大。凝灰質土。5.10mより乳灰色となる。
		12.70	5.75		細砂	褐灰～黄灰～黄褐灰	締り中位。水分中位。粒径比較的そろう。粒径小さい。シルト若干含む。雲母片混入。10.70～10.90m シルト挟む。11.0m付近よりシルト混入する。
		18.20	5.50		シルト混り細砂	黄灰	締り中位～ゆるい。水分中～大。粒径不均一。シルト分混入する。15.0m付近より浮石多量に混入する。
		30.30	12.10		細砂	黄褐灰	締り非常によい。水分中位。粒径比較的そろう。雲母片混入する。所々シルト分若干混入するところあり。

標準貫入試験

深さ m	打撃回数／貫入量 cm	10cmごとの打撃回数 10cm	20cm	30cm
1.15	4	1	1	2
1.45	30			
2.15	3	1	1	1
2.46	31			11
3.15	3	1	1	1
3.45	30			
4.45	2	1	1	
4.90	45	20	25	
5.15	2	1	1	
5.46	31	15	16	
6.15	6	2	2	2
6.45	30			
7.15	16	4	6	6
7.45	30			
8.15	18	4	6	8
8.45	30			
9.15	21	6	6	9
9.45	30			
10.15	19	6	6	7
10.45	30			
11.15	18	6	6	6
11.45	30			
12.15	17	4	6	7
12.45	30			
13.15	10	2	2	6
13.45	30			
14.15	12	3	4	5
14.45	30			
15.15	13	2	4	7
15.45	30			
16.15	15	4	5	6
16.45	30			
17.15	18	5	5	8
17.45	30			
18.15	48	11	14	23
18.45	30			
19.15	50	15	17	18
19.45	30			
20.15	50	18	20	12
20.40	25			5
21.15	45	9	15	21
21.45	30			
22.15	43	9	16	18
22.45	30			
23.15	39	9	14	16
23.45	30			
24.15	35	9	11	15
24.45	30			
25.15	45	11	16	18
25.45	30			
26.15	50	12	19	19
26.42	27			7
27.15	50	16	22	12
27.40	25			5
28.15	50	21	29	
28.32	17		7	
29.15	50	25	25	
29.29	14		4	
30.15	50	18	32	
30.30	15		5	



試料採取

試料番号	深さ m	採取方法
	3.50	
	TW	固定ピストン
	4.30	

特記事項

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市立若松中学校エレベータ設置土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

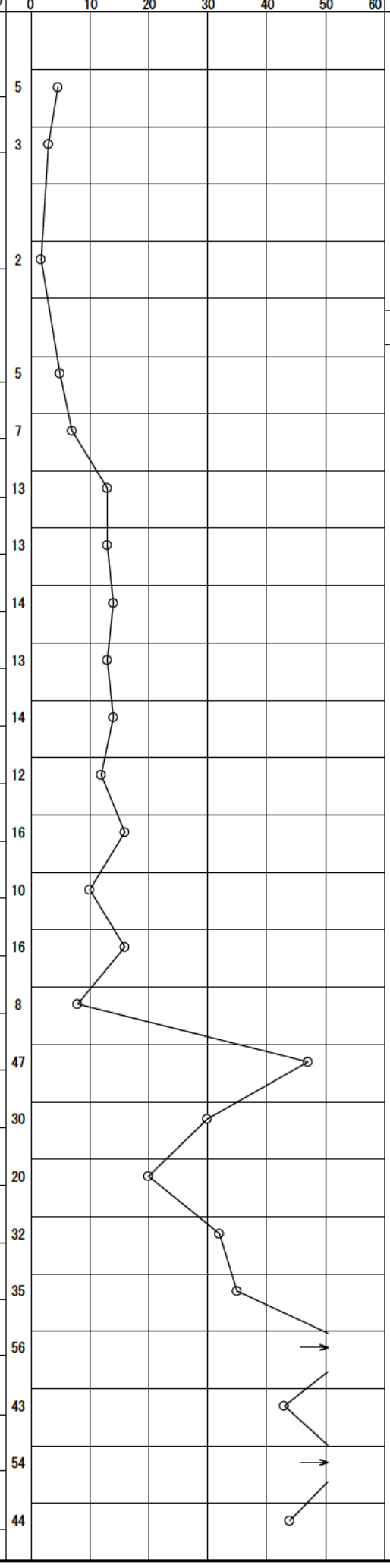
シートNo

ボーリング名	No.1	調査位置	千葉市若葉区若松町2106番地の2							北緯	35° 38’ 9.242”
発注機関	千葉市役所			調査期間	令和 2年 7月 28日 ～ 2年 7月 30日					東経	140° 10’ 9.152”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者	
孔口標高	KBM −0.64m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0°	使用機種	試錐機	KR−50	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	26.45m								エンジン	NS60	ポンプ	V−6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	−1.54	0.90	0.90		盛土・ローム	暗茶褐			上部細砂を多量混入。 含水・粘性中位。 0.6m以深黒褐色の黒ボク主体。	
1～3	−4.44	2.90	3.80		ローム	茶褐			含水・粘性中位。 所々虫孔状。 層下部粘性やや強い。	7/28 3.60
4～7	−7.94	3.50	7.30		凝灰質粘土	乳黄褐～乳黄灰			4.1m付近　細砂を少量混入。 5m以浅　含水多量。 5m以深　含水中位。 粘性強い。 酸化鉄及び炭化物を少量混入。 6m以深　乳黄灰色。 6.5m付近　酸化鉄を多量混入。 層下部　細砂を多量混入。	
8～18	−18.64	10.70	18.00		細砂	暗黄褐～暗黄灰			9m以浅　暗黄褐色。 含水中位・粒子不均一。 11m以深　含水稍多量。 12～14m間　薄層状にシルトを挟有。 15m付近　所々細粒状の浮石を混入。 17m付近　細粒状の浮石を多量混入し、薄層状シルトを挟有。	
18～21	−21.64	3.00	21.00		細砂	暗黄灰			18m付近　中砂を少量混入。 含水中位・粒子不均一。 所々酸化鉄を微量混入。 孔壁の崩壊性が少量有り。 20m付近　中砂を多量混入。 20～21m間　含水稍多量。	
21～26	−27.09	5.45	26.45		細砂	暗黄灰			含水中位・粒子不均一。 所々酸化鉄を微量混入。 孔壁の崩壊性が少量有り。 24.5m以深　含水少量。 26.4m付近　中砂薄層状に挟有。	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2/12	2	5/32	5
1.47～2.15	1	1	1	3/30	3
2.45～4.15	1/15	1/18		2/33	2
4.48～6.15	1	2	2	5/30	5
6.45～7.15	2/13	2/7	3	7/30	7
7.45～8.15	4	4	5	13/30	13
8.45～9.15	3	5	5	13/30	13
9.45～10.15	4	4	6	14/30	14
10.45～11.15	3	5	5	13/30	13
11.45～12.15	4	5	5	14/30	14
12.45～13.15	3	5	4	12/30	12
13.45～14.15	4	5	7	16/30	16
14.45～15.15	2	3	5	10/30	10
15.45～16.15	4	5	7	16/30	16
16.45～17.15	2	3	3	8/30	8
17.45～18.15	13	18	16	47/30	47
18.45～19.15	8	9	13	30/30	30
19.45～20.15	3	6	11	20/30	20
20.45～21.15	7	11	14	32/30	32
21.45～22.15	8	12	15	35/30	35
22.45～23.15	11	17	22/7	50/27	56
23.42～24.15	11	13	19	43/30	43
24.45～25.15	12	19	19/8	50/28	54
25.43～26.15	13	14	17	44/30	44
26.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
5.20～5.80	孔内水平載荷試験

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
2.80～3.40	1	Ⓣ	物理力学	
4.80～5.50	2	Ⓣ	物理力学	
10.15～10.45	3	Ⓟ	物理	7/28
21.15～21.45	4	Ⓟ	物理	7/29
				7/30